

背負型映像データ伝送装置

JCL 100

JCL-100は、災害対策や河川道路管理、現場の状況把握のために、事務所と現場との間で、映像、音声、データを配信することを目的とした装置です。

MPEG2エンコーダ、無線LAN装置を内蔵しており、ケーブルを敷設することなく現場の映像を事務所へ配信することができます。持ち運びに便利な背負型構造となっていますので、機動性に富んだ運用が可能です。

特長

無線LANを使用していますので、ケーブルを敷設することなく映像・音声・データを伝送することができます。

無線LAN装置を2台内蔵していますので、中継装置として使用することができます。無線IP電話や無線LAN内蔵PDAなど、出力の小さな装置を使用する際でも、広範囲に安定した通信を行うことができます。

データを暗号化するWEP(40/104/128bit)やWPA-PSK(TKIP、AES)をはじめ、セキュリティレベルをさらに高めたRADIUSサーバで認証するIEEE802.11iに対応しています。

90分動作可能な大容量バッテリー、または外部電源(DC12V)にて動作します。オプションのACアダプタを使用することにより、AC100V電源に対応します。

背負ベルト、背あてパッド部が取り外し可能ですので、専用取り付け金具を使用し車載端末として運用することができます。



背負型映像データ伝送装置:JCL-100

映像入力	NTSC 1CH(RCAピンジャック × 1)
音声入力	アナログ不平衡(ステレオ)1CH(RCAピンジャック × 2)
映像符号化方式	MPEG2
有線LAN I/F	10BASE-T/100BASE-TX(RJ-45 × 1)
無線LAN規格	IEEE802.11b/g準拠
電源	内蔵バッテリー、または外部電源(DC12V)
防水仕様	防雨型
バッテリー動作時間	約90分
外形寸法	260(W) × 110(D) × 295(H) mm(突起部、リュック部含まず)
質量	約7kg

システム構成例

